

第八代会長に喜友名朝昭氏

-任期満了に伴う役員改選-



発行所 土地連会報
〒970-0001 福島県会合野田町7番地
〒970-0002 福島県会合野田町2番地
〒970-0003 福島県会合野田町3番地
〒970-0004 福島県会合野田町4番地
〒970-0005 福島県会合野田町5番地
〒970-0006 福島県会合野田町6番地
〒970-0007 福島県会合野田町7番地
〒970-0008 福島県会合野田町8番地
〒970-0009 福島県会合野田町9番地
〒970-0010 福島県会合野田町10番地

仲間・我那覇副会長再任

理事会

平成十六年三月二十九日開催された第七〇回定期総会において、任期満了に伴う役員改選(理事十四名、監事三名)が行われ、各地区から推薦された十七名が承認された。また、四月一日開催の理事会において、会長に喜友名朝昭氏、副会長に仲間昌信氏、我那覇祥義氏が選任され同日就任した。また同日開催された監事会において代表監事に長嶺善勇氏が選任された。



第八代会長に就任した喜友名氏

会長就任挨拶

はからずも、創立五十年という歴史ある土地連の会長に選任され、また組織の運営に素晴らしいリーダーシップを発揮してこられた花城前会長の後任として、去る四月一日付けで会長に就任いたしました。

戦後から数えて今年で五十九年、沖縄が本土復帰して三十二年経過してなお、県土の約十一パー

セントに及ぶ米軍基地が存在しております。それだけに米軍基地に関わる諸問題は今なお山積しております。とりわけ基地返還に関わる原状回復問題や地主補償問題は跡地利用に直接影響するだけに、一時的とも気を緩めることはできません。このような問題を考えた場合、本当に身の引き締まる思いであり、改めて約三万五千地主の声を双肩に重くのしかかってくる思いであります。

さて、昨年度におきましては、「土地連創立五十周年記念盛典・祝賀会」という大きな事業を花城前会長のもとで、理事の一人として関わってまいりました。代議員各位をはじめ関係者皆様方のご理解とご協力を得て所期の目的を達成することができました。心から感謝申し上げます。心から感謝申し上げます。

私ども土地連を取りまわ情勢は大変厳しいものがあります。貸付料の増額問題については、政府の財政事情や県内地価の状況等により、昨年度においても一昨年度においても私どもの要求は大きな壁に阻まれて、苦渋の選択をせざるを得ませんでした。特に平成十六年

花城会長ら退任

長い間、土地連役員として、軍用地連関問題の解決に尽力を頂いた花城各氏が、任期満了に伴い平成十六年三月三十一日をもって退任した。

○花城清善氏(会長) Ⅱ野田町 ○澤崎安良氏(理事) Ⅱ野田町 ○喜屋武潤二氏(理事) Ⅱ北中城村 ○富山忠茂氏(理事) Ⅱ恩納村 ○上原康作氏(監事) Ⅱ恩納村

喜友名氏は本会第八代会長となる。北谷町出身で同町軍用地等地主会会長。引続き副会長に就任した仲間氏は金武町出身で同町軍用地等地主会会長、我那覇氏は那覇市出身で同市軍用地等地主会会長。

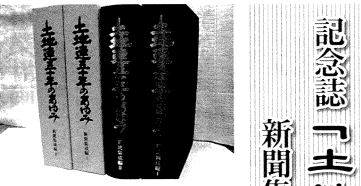
代表監事に長嶺氏

去る三月の定期総会で選任された監事三名が四月一日初の監事会を開催。代表監事に長嶺善勇氏を再任し、今後一年間の監査計画を話し合った他、業務執行状況等のチェック体制強化を確認した。

解決に誠意、全力を挙げて取り組んでいく所存でありますので、関係者各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。会長就任の挨拶といたします。

新執行部等の顔ぶれ

任期 平成16年4月1日 平成18年3月31日まで	副会長 仲間 昌信	副会長 我那覇 祥義	理事 沖繩市 比嘉 常俊	理事 那覇市 金城 重正
理事 高島 進	理事 又吉 信一	理事 読谷村 屋良 政信	理事 浦添市 宮城 國男	理事 浦添市 浦添 康克
理事 北中城村 伊佐 常助	理事 大城 松男	理事 安慶名 全良	理事 宜野座村 宜野座 康克	
理事 糸満市 繁雄	理事 那覇市 長嶺 善勇	理事 沖繩市 浜比嘉 勇	理事 野原 哲男	



記念誌「土地連五十年のあゆみ」

新聞集成編Ⅰ・Ⅱを発刊

本会においては、平成十四年より創立五十周年記念事業の一環として、記念誌の編纂作業を進めてきたが、このたび、編集委員会(砂川直義委員長)並びに関係者の並々ならぬ尽力により、「土地連五十年のあゆみ(新聞集成編Ⅰ・Ⅱ)」を発行いたしました。本誌は、一九八四年(昭和五九年)に発行された「土地連五十年のあゆみ」の続編として発行されたもので、一九八三年(昭和五八年)から二〇〇二年(平成十四年)までの二〇年間に係る新聞記事が採録されている。

新聞集成編Ⅰは一九八三年から一九九五年まで、新聞集成編Ⅱは一九九六年から二〇〇二年までを収録。それぞれ七〇〇部を印刷し、図書館、国・県の機関、県内市町村、地主会及び土地連関係者へ無償で配付していくことになっている。

なお、編集委員会においては、平成十六年以降引き続き、「通史・資料編」の発行に向けた編集にあたることにしている。

新年度事業計画・予算書など承認 第70回定期総会

返還跡地支援対策に取組む 関係資料の整備充実 会館建設事業を推進

本会第70回定期総会が、三月二十九日午後一時三十分から那覇市内の沖繩県青年会館において開催された。総会では提案された平成十六年度事業計画案をはじめ、平成十六年度予算案が全会一致で承認されたほか、任期満了に伴う役員改選が行われ、各地区から推薦された十七人全員を承認、平成十六年度は、賃料増額問題、位置境界未確定問題の解決促進のほか、返還跡地の円滑な利用促進に向けた支援対策、創立五十周年を契機として会員の歴史考察に資するための軍用地関係資料の整備充実及び閲覧室を備えた会館建設事業を進めていくことになった。



第70回定期総会

定期総会で承認された平成十六年度における基本方針、事業計画は、次に掲げるとおり。

基本方針

平成十五年三月末まで返還されたキャンプ・桑江北側部分が、沖縄振興特別措置法による「特定跡地」第一号として指定されたものの、汚染物質の除去問題などで、原状回復

作業が大幅に遅れており、返還後の跡地利用計画への影響が懸念されているところである。特に、県内における軍用地は、米軍の使用に起因する土壌等の汚染が十分予測されるだけに、SACO事業等の基地返還が今後において促進されてくることを考えた場合、憂慮に耐えないものがある。よって、返還に伴う跡地利用

問題や地主補償問題に関する要請行動を展開していくこととする。また、返還跡地の利用促進に資することができるよう、関係系士会への支援措置に向けて検討していくこととする。賃料増額問題については、近年における政府の厳しい財政状況に加え、県内地価の下落という条件が重なり、予算措置において厳しい状況が続いている。とはいえず、過去五十年来に亘り基地を保有してきたおり、日米安保条約の安定的遂行に貢献していることを直視し、今後とも増額に向けて取り組んでいくこととするが、今年度においては、平成四年に打ち出した要求総額九八億六五〇〇万円を根拠とした要求方針のもとに、要請行動を展開していくこととする。

収支予算書総括表

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) 単位:千円

科目	合計	単位:千円			
		一般会計	共済事業特別会計	原簿不明土地管理特別会計	会館運営特別会計
I.収入の部					
基本財産運用収入	3,000				3,000
会費収入	138,740	138,740			
補助金等収入	22,766	22,765	1		
雑収入	6,625	2	5,981	521	121
預り金収入	13,210			13,210	
振入金収入	21,910		21,910		
入金収入	200		200		
負担金収入	400				400
特定収入取崩収入	16,168	7,614	6,000	2,554	
繰入金収入	7,380	2,532	4,847		1
当期収入合計	230,399	171,653	38,939	16,285	3,522
前期繰越収支差額	12,000	7,000	2,000	3,000	0
収入合計	242,399	178,653	40,939	19,285	3,522
II.支出の部					
事業費	44,165	44,165			
渉外事業費	314		314		
政府委託事業費	22,764	22,764			
共同施設会連同事業費	3,573		3,573		
管理費	85,563	75,400	7,638	1,834	991
固定資産取得支出	5	3	1		1
固定資産支出	2,554			2,554	
振出金支出	6,000		6,000		
特定額金支出	42,127	7,005	21,912	13,210	
繰入金支出	7,380	4,848	1	1	2,530
雑備費	27,654	24,468	1,500	1,686	
当期支出合計	242,399	178,653	40,939	19,285	3,522
当期収支差額	△12,000	△7,000	△2,000	△3,000	0
末期繰越収支差額	0	0	0	0	0

については、その解決促進のための委員会を設置して、目下、鋭意取り組んでいるところであるが、年度内に検討結果を取りまとめ、関係機関等への要請行動を展開していくこととする。

平成十五年十一月、土地連創立五十周年記念事業の一環として記念典を挙行し、また、記念誌(新聞集編I、II)の発刊にご着目したところであるが、創立五十周年を契機に、本会が保有する諸資料や書籍等の整備並びに充実を図り、新設の歴史考察等に資するための事業を推進していくこととする。

以上の基本方針を踏まえ、平成十六年度において次に掲げる事業を計画し、推進していくこととする。

- (一) 法人及び会計の適切な処理に関する調査研究
- (二) 情報公開に関する対応及び調査研究
- (三) 広報活動事業について
- (四) 広報活動事業について
- (五) 土地連会報の発行
- (六) インターネットによる広報活動
- (七) 組織の充実強化対策
- (八) ペイオフに対応した資金管理の充実強化
- (九) 会員の意思統一と団結による組織の充実強化
- (十) 創立五十周年記念誌の発刊事業について
- (十一) 創立五十周年記念誌の編集及び発刊
- (十二) その他
- (十三) 諸事業の推進に関する委員会の設置
- (十四) 諸事業に関わる関係資料の収集
- (十五) 社団法人としての社会的貢献の推進

主要日誌/平成十五年

- 【四月】
 - 八日 那覇防衛施設局 辺野古海域で代替施設の護岸構造を検討するための海底地形調査に着手
- 【五月】
 - 七日 平成十四年度監査(八日)
 - 六日 理事会開催
 - 一日 那覇防衛施設局 キャンプ・桑江北側地区の環境調査を開始
- 【六月】
 - 九日 嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会) 普天間飛行場の嘉手納統合案に反対する声明を発表
 - 六日 土地連創立五十周年
 - 七日 理事会開催
 - 二〇日 那覇防衛施設局長(平成十六年度賃料増額要請(全役員))
- 【七月】
 - 四日 理事会開催
 - 七日 那覇空港長(平成十六年度賃料増額要請)
 - 一日 平成十五年賃料(概算分)各地主会へ振り込み
 - 五日 全役員、平成十六年度賃料増額要請のため上京(一七日)
- 【八月】
 - 五日 理事会開催
 - 訪問のため上京(二日)
 - 九日 記念誌編集委員会(第九回)開催
 - 二日 自民党県連「一日政調会」で給付金問題と位置境界未確定問題を要請
 - 二四日 理事会開催(平成十六年度賃料増額(〇・七五%)を了承)

花城前会長 退任挨拶



花城 清善 氏

このたび、理事の任期満了に伴い、会長職を退任することとなりました。宜野湾市地主会のご推挙をいただき、代議員皆様方の選任を受けまして、昭和五十八年(一九八三年)五月二十七日土地連理事に就任し、以来、今日に至るまで、二十年余りに亘り土地連の理事として軍用地問題に携わってまいりました。

顧みますれば、理事就任中において、平成七年(一九九五年)六月二十日に施行された「沖縄県における駐留軍用地の返還に伴う特別措置に関する法律」、私もこれに軍転特措法と呼んでおりましたが、この法律の制定に關わってまいりました。また、平成十四年四月一日に施行された「沖縄振興特別措置法」の制定にも關わってまいりました。この二つの法律は、軍用地の返還や返還後の地主補償事項が盛り込まれていることから、地主の関心も高く、それだけに法律制定には、文字どおり心血を注いで取り組んでまいりました。補償措置については十分とはいえない面もありますが、跡地利用に関する責任の所在は明確にされており、従来のような返還後の長期に及ぶ「未利用期間」が大幅に縮小されるのは間違いありません。その意味では、地主の不安もある程度払拭され、跡地利用に向けた取り組みも促進されるのではないかと考えており、高く評価しているところであります。私は、任期満了により平成十六年(六月)末日をもち退任いたしますが、理事としての最後の二年間、は土地連会長という重責を担ってまいりました。会長就任に際しては、「人事を尽くして結果を待つ」と行をもつて信頼を築き、「和をもちて」ことをモットーにして、真摯に軍用地諸問題に取り組んでまいりました。十分ではないかもしれませんが、それなりの成果は得たものと思っております。これら以上に理事並びに監事の皆様方をはじめ、代議員や関係諸先輩方のご理解とご協力があつたからこそなし得たものであり、また大過なく会長職をまっとうすることを改めて感謝申し上げます。特に会長就任時において、土地連創立五十周年記念式典・祝賀会」を主催者の代表として執り行ったこと、土地連五十年のあゆみ」の発行に携わったことは、感無量の極みであり終生の思い出となりまして、二十年という土地連の歴史、理事としてまた会長として関わることができましたことは、私自身にあっては望外の喜びとなりました。

平成十六年度沖繩関係借料

平成十六年度借料額八七六億六七〇〇万円は、前年度比で約六億五〇〇〇万円増、実質0.75%の伸び、この0.75%は平均の伸び率であり、施設や施設周辺の開発状況等により異なってくる。具体的な施設毎の単価額については、十一月頃から開始関係当局と各地主会との交渉によって決定される。

借料関係の予算は、平成十四年度が2.0%、平成十五年度が1.0%、平成十六年度の伸び率はさらに下回ることとなり、年々厳しさを増している。平成十六年度においては、第六九回定期総会において、要求額八九三億二〇〇〇万円(対前年度比2.6%増)を全会一致で決議。要求額満額確保のために例年ない早期かつ頻繁な要請行動を展開してきたが対前年度比伸び

土地連共済会会員加入受付中! 共済資金融資申込随時受付

この融資制度は、軍用地等地主の生活の安定と福利の増進に寄与することを目的とした制度で、軍用地等地主の必要な資金確保の円滑化を図るための長期で低利の融資となっております。なお、当連合会及び各地主会は「融資あつせん」の手續き業務を行なうこととなりますが、融資貸付けの最終的な決定は各金融機関になります。

- 融資対象
土地連共済会会員又はその配偶者及び一親等の続柄の者(重複貸付は認めない)。
- 融資申込手續
各地主会の窓口にて随時受け付けておりますが、新しく会員として加入される方は「共済拠出金」を拠出していただくこととなります。

1 融資限度	最高額1,000万円
2 期間	15年以内
3 利率	長期プライムレート適用+α (年2回金利見直し)
4 担保	当該軍用地及びその他
5 保証	原則として不要
6 償還方法	月賦払・半年賦払・年賦払

※融資実行の際は借入額の1,000分の1.5(融資事務取扱手数料)を徴収します。

※詳しくは各所属地主会、又は連合会(098)868-6270にお問い合わせ下さい。

- 融資あつせん申込みから融資実行まで約1ヵ月から2ヵ月半の期間を要します。
- 取扱金融機関
 ◎JA沖繩 ◎琉球銀行 ◎沖縄銀行
 ◎沖繩海邦銀行 ◎コザ信用金庫

とされており、高く評価しているところであり、また大過なく会長職をまっとうすることを改めて感謝申し上げます。特に会長就任時において、土地連創立五十周年記念式典・祝賀会」を主催者の代表として執り行ったこと、土地連五十年のあゆみ」の発行に携わったことは、感無量の極みであり終生の思い出となりまして、二十年という土地連の歴史、理事としてまた会長として関わることができましたことは、私自身にあっては望外の喜びとなりました。

『巨星墜つ』 山中貞則先生 逝去

平成十六年(二月)二十日、衆議院議員山中貞則先生逝去。先生の冥福をお祈りいたします。

逝去、沖繩の教訓歌には、宜野湾市地主会の一員として引続き関わってまいりますが、これまで二十二年に亘ってご指導ご鞭撻を頂いてまいりました関係各位に対し、心より御礼申し上げます。昭和二十八年に初当選し、昭和四十七年に初代沖繩開発庁長官に就任して沖繩の復興問題に尽力され、昭和三十八年には防衛庁長官に就任して貸付料の大幅値下げを実現。自民党内にあっては政務調査会歴任されて、沖繩の開発に大きな功績を残されました。

- 二八日▼両副会長、施設庁概算額満額確保要請のため上京
- 二九日▼監事会開催
- 八日▼理事会開催
- 一六日▼居所不明土地管理調査検討委員会(第一回)開催
- 一六日▼位置境界未確定調査検討委員会(第一回)開催
- 二六日▼位置境界未確定調査検討委員会(第二回)開催
- 二七日▼理事会開催
- 二九日▼居所不明土地管理調査検討委員会(第一回)開催
- 【十月】
- 三日▼監事会開催
- 八日▼キャンパス桑江北側地区「特定跡地」指定第一号
- 一〇日▼理事会開催
- 一四日▼位置境界未確定調査検討委員会(第二回)開催
- 一五日▼中間監査(一七七日)
- 二〇日▼記念誌編集委員会(第十回)開催
- 二二日▼理事会開催
- 二三日▼地主会長会開催
- 二八日▼理事会開催
- 二九日▼特定跡地給付金問題で、北谷町地主会とともに上京要請
- 三〇日▼居所不明土地管理調査検討委員会(第三回)開催
- 【十一月】
- 六日▼理事会開催
- 一四日▼理事会開催
- 二〇日▼位置境界未確定調査検討委員会(第四回)開催
- 二一日▼理事会開催
- 二七日▼土地連、防衛施設庁長官より「感謝状」受賞
- 二八日▼創立五十周年記念式典・祝賀会開催

軍用地主の財産権保護活動に半世紀

創立50周年記念

記念式典・祝賀会挙行

平成十五年十一月二十八日、那覇市内のロワジュールホテルオキナワにて、
「土地連創立五十周年記念式典・祝賀会」を開催。式典・祝賀会には土地連の役員をはじめ傘下二十五市町村地主会、関係機関、それに来賓など約二五〇人が出席して、創立五十周年を祝った。また、土地連の組織運営や地主会の運営に尽力された方々に感謝状、表彰状を贈呈し、これまでの功績を讃えた。

花城会長は、「土地連は、軍用地主の財産権を保護することを運動の基とした。以来、民間サイドから沖縄における軍用地の問題の解決に取り組む月十六日発足した。当時の沖繩の社会情勢は、米軍統治下で布令第一〇九号(土地取用令)が公布され、那覇市安謝、銘苅など県内各地で土地の接収が強行されるなど騒然とした年であり、県民と

の間に激しい紛争を繰り返されてよかつたという環境づくりをしていきたい。本日は、軍用地問題の解決と促進に尽力されてこられた諸先輩方の功績を讃え、最後に仲間副会長から、山積する軍用地諸問題には組織一丸となつてこれにあたり、一ひつと解決して五十年という土地連の歴史に新たなページを加えていきたいと力強く宣言した。

引き続き催された祝賀会では、平田行正(玉城琉風会会主、国指定重要無形文化財、組踊(総合認定)保持者)、湖城静子(同会教師)による「か



記念祝賀会

創立50周年記念式典



軍事事務局職員十一人に表彰状を贈呈。引き続き、来賓の稲嶺恵一沖繩県知事、嘉数知賀防衛庁長官政務官、仲村正治衆議院議員、山中昭栄防衛施設庁長官が祝辞を述べた。また、創立五十年という大きな節目を迎えるに当たり、社団法人としての当り、社団法人としての公益的義務も果たすべきであるとして、「社会への貢献」事業を進めてきているが、その一環と



組織の発展に功劳された皆さん

- 特別功労者
山中貞則
- 感謝状・表彰状受賞者
武元正信、新城喜屋
- 助。上原肇
- 平良榮順、玉城清喜、三好文子、岳原美智子、新垣善榮、川端麗子、仲村麗子、安里初恵、比嘉敬子、松田千賀子、金城勝一
- 島袋輝夫、稲嶺盛林、高嶺崇枝子

【敬省略】

- 【十二月】
- 一日▼位置境界未確定調査検討委員会(第五回)開催
 - 九日▼位置境界未確定調査検討委員会(第六回)開催
 - 一日▼業務監査
 - 一日▼理事会開催
 - 五日▼居所不明土地管理調査検討委員会(第四回)開催
 - 六日▼茂木沖繩担当、普天間代替施設の民間部分は防衛施設庁が事業主体となることを発表
 - 九日▼平成十六年度財務予算内示対応、給付金問題で東京(一二日)
- 平成十六年
- 【一月】
- 五日▼居所不明土地管理調査検討委員会(第五回)開催
 - 二八日▼理事会開催
 - 【二月】
 - 九日▼居所不明土地管理調査検討委員会委員長、土地連会長へ最終報告書提出
 - 一〇日▼位置境界未確定調査検討委員会(第七回)開催
 - 二二日▼各地区(北部・中部・南部)代議員会開催(二三日)
 - 一八日▼記念誌編集委員会(第十一回)開催
 - 三〇日▼衆議院議員山中貞則氏逝去
 - 【三月】
 - 二日▼理事会開催
 - 六日▼浦添市地主会・浦添地主会合併総会開催
 - 九日▼位置境界未確定調査検討委員会(第八回)開催
 - 一二日▼位置境界未確定調査検討委員会委員長、土地連会長へ中間報告書提出
 - 一八日▼理事会開催
 - 二〇日▼創立五十周年記念誌「新聞集成編」I・II発行
 - 二九日▼第七〇回定期総会開催(於、沖繩県青年会館)